

防災業務 支援システム

から始める

防災DX

そんな 現場を支援 します!

そもそも 経験値がない 指示を出す タイミングが わからない どんな リスクが あるのか

状況把握が 人海戦術だ











防災業務支援システムは、多くの

的確な判断と迅速な対応を

情報から効率的にリスクを把握し、 サポートするWEBシステムです。

これまでの課題

現場に行かないと見えない

- ⇒状況把握には人海戦術
- ⇒ 遠隔化と効率化が 必要

常時監視、異常発生の

カメラによる監視

リスクの認識

事象予測



これまでの 課題

危険だとわからない この後どうなるかわからない

- ⇒ リスク把握には切迫性の 高い伝え方が必要
- ⇒ 事象予測には技術的知見 と経験が必要
- ⇒ 高度化、可視化が必要

危険な箇所が ランキングで わかる

監視

開閉状況が

一目でわかる

- カメラ、センサー等のIoTによる多地点監視、 ドローンの活用による機動的な監視
- 樋門・排水機場・陸閘の操作状況の監視

検知と通知

これまでの

人手が足りない

⇒災害対策室、

現場に人が集中

⇒ 現場判断には技術的

知見や経験が必要

- カメラ画像からの映像解析AIによる異常の 検知と通知
- ▶ センサーによる越水・浸水検知と通知



災害対応

認識

ユーザー視点でのリスク情報・診断結果の

予測水位に応じて越水の危険性がある箇所を ランキング表示することで被害発生箇所を予測

センサーおよび予測情報(水位、降雨量)を 用いてリアルタイムに洪水氾濫被害を予測



報告様式が 自動で作成

状況把握

次に対応

わかる

すべき行動が

共有·把握

状況に応じて必要な情報を表示する ことで迅速な状況 把握を支援 リアルタイムで災害対応状況を

情報共有

実施すべきタイミングを通知する

意志決定支援

的確な意志決定

ことで意思決定を支援

防災業務支援システムに加えて、 電子黒板、Web会議を活用する ことで遠隔地からの災害対応支 援を促進

ホットラインのタイミングや

必要な情報を提供し、速やかな

対応支援

避難情報発令を支援

これまでの

対応状況が

わかる

必要な対応がわからない この後どうなるかわからない

- ⇒ 意思決定には技術的知見や 経験が必要
- ⇒ 最適化、自動化が必要

避難支援

遠隔支援

導入の流れ

複数ある機能の中から、 必要なものを選択



2 防災業務支援システムの導入



3 担当者への周知・定着をサポート

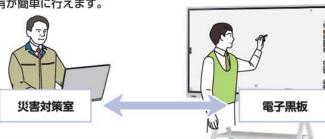


活用事例・今後の展開

関係機関や現場の職員と同じ防災業務支援システムを見て、情報 共有や対応報告をすることができます。

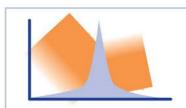


電子黒板に表示した防災業務支援システムに、手書きで記入した 被害情報などを電子化し、他職員のPCに表示することで、情報共 有が簡単に行えます。



防災×デジタル技術で目指す変革

「防災業務支援システム」は、あらゆるデータと連携するデータ基盤、共通プラットフォームであり、AI/自動処理を活用することができます。 この「防災業務支援システム」を導入し、災害対応のリモート化、アウトソーシング、サービス(SaaS)利用を組み合わせて実現することで災害 の激甚化とコロナ渦を踏まえたニューノーマルでフェーズフリーな災害対応の実現を目指します。

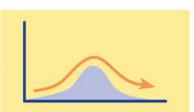


時間 対応のピークが集中 空間 災害対策室に集中

ヒト 限られた経験者に集中



デジタルテクノロジーを積極的に取り入れることで、 災害対応の体制・運用の変革を支援



時間·空間·ヒトの 分散



2 パシフィックコンサルタンツ株式会社

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地

